

県きこL研ニュース

岩手県きこえ・ことば・LD等教育研究会事務局（盛岡市立桜城小学校内）

〒020-0022 盛岡市大通 3-8-1

電話／FAX 019-624-0457 e-mail:jimukyoku@iwate-nangen.jp <http://www.iwate.nangen.jp>

令和4年度 第2回理事会の報告

9月28日（水）に、桜城小学校において第2回理事会が開かれ、事業報告や研究推進の経過報告が行われました。今回も、リモートの参加もあるハイブリット型の開催となりました。

事業報告では、本研究会の名称の変更に伴い毎回発行されていた「県難言県ニュース」の名称が「県きこL研ニュース」に変更になったこと、令和4年度版きこえ・ことば・LD等・幼児教室担当者名簿の確認、幼児・児童・生徒数調査についての報告がありました。

研究推進の経過報告では、各研究班、各理事から、研究主題や目標・方針、研究内容や研修内容等が出され、コロナ禍の状況でも工夫をして各研修が進められている様子が報告されました。

協議では、第63回岩手県きこえ・ことば・LD等教育研究大会について質問や意見が出されました。難聴班の分科会では、助言者から講義をしていただく予定であること、発表者の内容等の適切な時期について、地区理事が発表者の場合の理事の代役についてなど当日の研究大会の運営等の質問がありました。現在は、例年通りの大会の運営をする予定ですが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う変更も視野にいれ準備をしていくこととなります。中止の場合は、2学期末までには決定し、連絡を行います。

令和5年度からの研究については、研究会の名称も変わったので研究の内容や対象の検討が必要であることや年次計画ではなくもっと幅広く研修を進める方向ではどうかなどの意見が出ました。今後、研究班や地区研究会の意見を集約し、来年度のテーマと内容を第3回理事会で検討することとなります。



◇◇◇ 第 63 回岩手県きこえ・ことば・LD等教育研究大会について ◇◇◇

◆大会主題 めざす子ども像を明らかにした、自立を促す指導・支援の在り方
～ 活動の機会を広げる工夫 ～

◆期 日 令和5年1月10日(火)

◆会 場 いわて県民情報交流センター「アイーナ」8階研修室等

◆日 程

9:20 9:50 10:15 10:30 12:00 13:00 14:30 14:45 16:15 16:20

受 付	開会 行事 ・ 表彰	移 動	分科会 90分 分科会 1 (校長班) 分科会 3 (LD班小) 分科会 4・5	昼食 休憩	分科会 90分 分科会 2 (難聴班) 分科会 3 (LD班中) 分科会 6・7	移 動	講 演	閉 会
--------	---------------------	--------	---	--------------	---	--------	--------	--------

◆内 容 研究班・地区研究会の研究の発表と協議，講演

◆講 演 **演題「ことばの力が育ち、主体性を高める授業と環境づくり」**

講師 東北福祉大学 教育学部 教育学科 教授 大西 孝志 氏

◆分科会 研究班…校長班，難聴班，LD班 ※幼児班は発表ではなく実践交流

地区研究会…盛岡，岩手，花北，胆江，両磐，上閉伊・気仙，宮古，県北地区

分科会	発表者	内 容	助言者
1 校長班	岩手町立 沼宮内小学校 校長 小野寺俊哉	校内の特別支援教育の考え方と校長の 役割，取組の実際	岩手県教育委員会事務局 学校教育室 特別支援教育課長 近藤 健一 先生
2 難聴班	滝沢市立 滝沢東小学校 教諭 千葉 晶子	自己の課題に気付き，主体的に改善を 図ることめざした自立活動	岩手県立盛岡聴覚支援学校 教諭 一條 遥 先生
3 LD班	花巻市立 若葉小学校 教諭 柏田 史隆	学習意欲につながる環境整備と教材・ 教具の工夫と活用	岩手県立総合教育センター 研修主事 藤井 未央 先生
	二戸市立 福岡中学校 教諭 西山 泰子	教科の内容を取り扱いながらの自立活 動の工夫	
4 両磐 上気仙	一関市立 室根小学校 教諭 石川 幸子	2次検査の「たのしいすごろく」を活 用した実態の見立てと早期支援	紫波町立日詰小学校 校長 森 和佳子 先生
	住田町立 世田米小学校 教諭 原野 悦子	LD・ADHD・ASD等通級指導対 象児童生徒の実態把握と支援	
5 花北 宮古	北上市立 黒沢尻西小学校 教諭 大内恵理子	個別の指導計画，意欲を促す評価，学 習活動の工夫の実践交流からの課題	陸前高田市立気仙小学校 教諭 佐藤 司 先生
	宮古市立 千徳小学校 教諭 高橋 幸子	個別の指導計画の見直しと修正と指導 の改善，学習意欲を高める指導の工夫	
6 盛岡 胆江	紫波町立 日詰小学校 教諭 帷子 豊美	学びを振り返り，意欲を持続させる学 習シートの工夫，音読支援	八幡平市立大更小学校 指導教諭 牟岐 茂里雄 先生
	金ヶ崎町立 金ヶ崎小学校 教諭 福田美穂子	意欲を高め，主体的に人と関わろうと する子どもを育てる指導支援	
7 岩手 県北	岩手町立 沼宮内小学校 教諭 白野 多恵	場面緘黙児童のコミュニケーションに ついて	花巻市立花巻小学校 教諭 吉池 稚重子 先生
	軽米町立 軽米小学校 教諭 高橋 寿生	吃音児童の指導について	
幼児	発表はなし 実践交流「指導上の疑問点、課題について」		

* 研究大会の案内文書（要項及び参加申込用紙）を 11 月中旬に各教室にお送りします。

* 万一，感染防止のため中止になる際は，12/20 までは各地区理事より，それ以降は県事務局より各学校・施設に連絡いたします。

令和4年度きこえ・ことば・LD等・幼児教室 指導幼児児童生徒数調査結果について

今年度の調査への御協力、大変ありがとうございました。実際の指導人数を把握できるようにと考え、年度当初の教育課程報告数と9月末日の指導人数の調査をしています。

今年度の教育課程の報告数の総数は、昨年度の総数より192名減っています。全体の総数が担当者の定数に反映されるようですので、定数13名に満たない通級指導教室は、来年度の人数を増やすことを意識していただきたいです。

今年度巡回指導を行っていることばの教室は、28教室で231名の児童を指導しています。地域の実情に合わせ、子どもが通いやすいように担当者が対応していることと思います。

詳しい分析結果は、2月の第3回理事会で報告いたします。

令和4年度 きこえ・ことば・LD等・幼児教室 指導幼児児童生徒数調査																								
No.	地区	きこえの教室・ことばの教室・LD等通級指導教室・幼児教室 指導幼児児童生徒数												①小計	②サービス				③合計	④待機人数	⑤総数	途中終了数		
		難聴	構音障がい	吃音	口蓋裂	☆言語発達	☆その他選択性緘黙の疑い等	L Dの診断あり	L Dの疑い	A D H Dの診断あり	A D H Dの疑い	★自閉症等の診断あり	★自閉症等の疑い	☆その他	指導幼児児童生徒数	通常の学級在籍	【知的支援学級】	【情緒支援学級】	【特別支援学級】	☆その他	①+②	待機幼児児童生徒数	③+④	幼途中終了児童生徒数
		1	盛岡地区	13	172	15	7	3	0	0	27	20	5	3	5	4	274	14	1	1	0	290	0	290
		14	242	22	11	21	0	0	30	21	7	5	4	4	381	19	1	1	2	404	0	404	7	
2	岩手地区	8	114	19	3	9	2	2	14	13	5	2	1	1	193	7	0	1	0	201	0	201	0	
		8	122	19	3	13	2	2	14	12	6	2	1	1	205	13	0	3	0	221	0	221	1	
3	花北地区	13	228	17	1	10	2	1	24	12	2	4	3	15	332	4	0	0	0	336	0	336	67	
		13	223	15	1	7	2	1	25	12	2	6	3	14	324	8	0	0	0	332	0	332	2	
4	胆江地区	2	133	12	2	16	0	2	41	10	4	3	6	2	233	12	8	6	1	260	0	260	0	
		2	121	10	2	20	0	2	47	10	3	3	6	2	228	16	8	6	3	261	1	262	15	
5	両磐地区	4	154	29	2	13	3	0	54	5	0	6	2	7	279	7	2	0	0	288	0	288	4	
		4	158	29	1	14	3	0	53	5	1	6	2	6	282	24	4	0	3	313	0	313	9	
6	上閉伊・気仙地区	13	183	6	1	0	2	2	9	0	4	0	3	1	224	5	11	2	1	243	0	243	3	
		8	184	6	2	1	2	2	3	0	4	1	3	2	218	18	10	1	109	356	6	362	1	
7	宮古地区	4	86	2	2	12	1	0	0	0	0	1	0	1	109	0	0	0	0	109	2	111	0	
		4	92	2	2	13	0	0	0	0	0	1	0	4	118	0	1	1	0	120	1	121	5	
8	県北地区	1	126	12	0	0	1	0	24	1	6	1	1	5	178	6	6	2	0	192	0	192	4	
		1	127	12	0	0	1	0	24	1	4	1	1	5	177	9	6	2	2	196	0	196	1	
	総計	58	1196	112	18	63	11	7	193	61	26	20	21	36	1822	55	28	12	2	1919	2	1921	79	
		54	1269	115	22	89	10	7	196	61	27	25	20	38	1933	107	30	14	119	2203	8	2211	41	

上段：教育設備の報告数 下段：9月30日現在の人数

〔事務局から〕

2学期の指導も後半になります。各研究班・地区研究会で発表する先生方には、日々の指導と並行して準備を進めていただき、ありがとうございます。

それぞれの発表を少しでも多く学ぶことができるように、地区研究会は、1つの分科会で2つの地区が発表します。また、より専門的な学びができるように、難聴班とLD班の発表には、担当していない方でも参加することができます。さらに、講演では、4年次研究のスタートの年にご講演いただきました東北福祉大学の 大西孝志先生にお話ししていただきます。先生には、研究のまとめとして、私たちが子ども達に対して大切にしていかなければならないことについてお話をさせていただきます。

案内文書を11月中旬には会員の皆さんのお手元に届くように準備を進めているところです。1月10日の研究大会は、発表する側も発表を聞く側も共に学ぶ機会とし、運営面でもたくさんの御協力をいただき、皆でつくる研究大会となるようどうぞよろしくお願いいたします。（事務局長 下村 絹子）



県北地区の紹介

〈地区研究会〉

県北地区は、久慈市、洋野町、野田村、普代村、二戸市、一戸町、軽米町、九戸村の言語 17 教室、難聴 2 教室、LD 等 7 教室で構成されております。

今年度第 1 回目の地区研究会では、地区総会と研究協議が行われました。各学級の活動紹介では、初めて担当になった方が多いこともあり、学習にあたっての悩みや指導方法の工夫などを交流することができ、とても有意義な学習会となりました。

第 2 回目の研究会では、講師に岩手大学教育学部 特別支援教育科 准教授 鈴木恵太先生をお迎えし、「学習障害の特性理解と特性に応じた指導」についてお話をいただきました。

- ・『読むことの脳機能的背景から、視覚的認知側面が弱いタイプと聴覚的認知側面が弱いタイプがある』こと
- ・『より良い学び』に役立てるためにアセスメントと特性に応じた指導が大切であること
- ① 課題の明確化と具体化②個人の長所や短所を理解して環境の調整③指導方法のプランを立てる④個別指導計画等で、蓄積と引き継ぎを行う
- ・ WISC - IV でわかること
- ・ 長所を生かした指導法の実例等



具体例をたくさん挙げていただき、さっそく実践したいお話ばかりでした。

午後は、「研究大会発表のレポート」について、実践交流を行いました。

第 3 回目の研究会では、構音指導の実践交流と、吃音の指導についての実践が話題になりました。吃音の症状の軽減は、周りの人に理解をしていただくことが大切なことと、自己受容の時期はいつがよいか、具体的な指導内容について交流することができました。

第 4 回目は、「研究大会発表のレポートについて」と、研修まとめをする予定です。

